

道路管理者の震後対応能力向上を目指した訓練に向けて



危機管理技術研究センター 地震防災研究室 主任研究官 宇佐美 淳 室長 高宮 進

(キーワード) 地震防災訓練、PDCAサイクル、チェックリスト

1. はじめに

道路管理者の震後対応では、道路啓開や道路情報の把握・提供等が重要であるが、発災直後の混乱期に迅速な対応を行うことは容易ではない。近年の地震においても、想定外の事態等により現場が混乱し、対応が遅れるといったケースが見られる。このため、訓練を通じて道路管理者の震後対応能力向上を図ることを目的に、「道路管理者における地震防災訓練実施の手引き(案)〔国土技術政策総合研究所資料第581号〕」〔以下、「本手引き」と記載〕を作成した。

2. 本手引きのねらい

(1) 本手引きの目的

本手引きは、図-1に示す目次構成としており、現状の震後対応能力を評価し、より現実に近い訓練を通じて、道路管理者の震後対応能力の向上を目指すことに主眼を置いた。

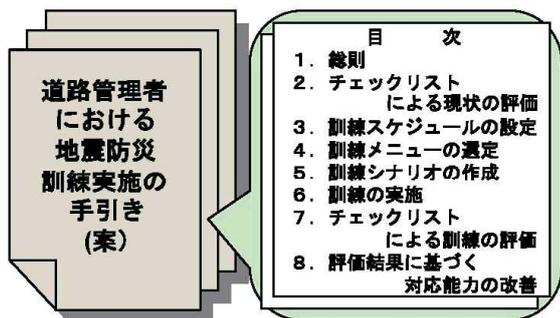


図-1 本手引きの目次構成

(2) 訓練シナリオの作成

本手引きでは、地震時における様々な支障を考慮した訓練シナリオを作成し、それに応じた対応を通じて震後対応能力の向上を図ることとした。このため、既往地震から得られた種々の支障や課題を収集・整理、体系化し、それを用いて訓練シ

ナリオが作成できるようにした。

(3) チェックリストの活用

本手引きでは、「事前準備」、「訓練対応」、「第三者による訓練評価」の3種類のチェックリストを作成した。本チェックリストは、現状を評価することでどこに課題があるかを把握し（事前準備）、また訓練を通じてどこに課題等があるかを確認する（訓練対応・訓練評価）ために用いることを考えている。

事前準備チェックリストは、地震に備えて事前に準備しておくべき事項を確認するために、また訓練対応・訓練評価チェックリストは、地震時に対応漏れ等がないか等を確認する際や地震後に対応内容を振り返る際にも利用が可能である。

(4) PDCAサイクルの適用

これまでの訓練は、訓練内容を決め訓練を実施するところまでがその主目的であった。しかし、震後対応能力の向上を図るには訓練実施後の対応が重要である。訓練結果を分析し課題等を把握するとともに、早急に課題を解決し、結果は防災業務計画等に反映したり、さらには、これらを背景とした新たな訓練シナリオを作成し、再度訓練で確認するといったPDCAサイクルの適用も考慮すべきであり、本手引きではこの点についても記述した。

3. 本手引きの周知及び利用

本手引き作成後、利用方法を周知するために地方整備局等で説明会を実施したほか、本手引きを利用した訓練を実施した。訓練では、事前に確認しておくべき事項や災害対応における課題が抽出されるなど、本手引きの効果が確認できた。